



「京都知恵産業支援共同事業」の募集について



オール京都で自社の強みと知恵を活かし、事業の成長、発展を図る企業を支援します

☆(公財)京都産業21の「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」の一部と京都市の「知恵産業創造支援事業」を共同で実施し、自社の強みと知恵を活かし、事業の成長、発展を図る企業を支援する事業です。

☆対象事業者 京都府内に事業所を有し、経営革新等を行おうとする中小企業者等

☆対象事業 京都が持つ伝統、文化、自然、景観などの地域資源の活用や地域の課題解決に資する事業で、中小企業の強み(知恵)を活かした経営革新等のための新しい事業

☆補助率等 限度額 : 300万円以内 補助率 : 2/3以内

☆交付申請 募集期間 平成25年4月1日(月) ~ 平成25年4月19日(金)
申請書類は後日ホームページ等で公開予定

説明会開催のご案内

平成25年3月11日(月)

14時~16時30分

京都府産業支援センター

5階研修室

平成25年3月14日(木)

14時~16時

京都府亀岡総合庁舎

第3・4会議室

その他にも新規創業及び
ソーシャル・ビジネスに係る
事業の公募があります。

日本政策金融公庫のマル経融資金利が
引き下げになりました。

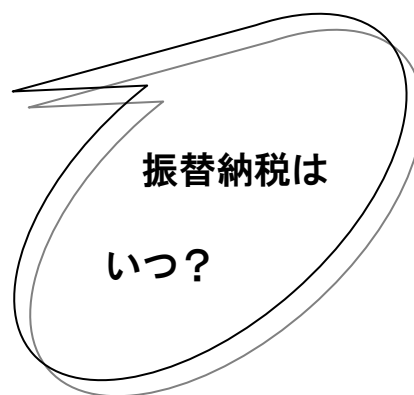


2月14日からマル経融資が1.65%に金利改定されました。
ご相談のある方は商工会へ。



確定申告も佳境にさしかかっています。
まだの方は少し急ぎましょう！

申告期限は所得税3月15日、
消費税3月31日です。



編集後記

鈴木敏文氏(株セブン&アイ・ホールディングス最高経営責任者)の「『昨日の顧客』と『明日の顧客』は同じではない」という言葉のとおり、過去との存在に目を向けるのではなく、未来の存在に目を向けることが重要のようです。鈴木氏は社員に「顧客のために」という言葉を使用禁止にし「顧客の立場で」を使わせるそうです。顧客のためにというのは「顧客とはこうあるべきだ」という手前勝手な先入観で考えがちなのに対し、顧客の立場でとなると実際の顧客の視点に基づいてニーズを探ることができるという全く別の気づきがありますよね。変化の速度と激しさが増している今、未来への一手を打てるかどうか。私にとっても重要な課題です。

S. H

商工会だよりに関するお問い合わせは

京北商工会まで TEL 075-852-0348 FAX 075-852-1173

URL <http://keihoku.kyoto-fsci.or.jp/> メール keishoko@skyblue.ocn.ne.jp